

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

会長の挨拶	2
新年の抱負（工房編）	3
新年の抱負（企画編）	4
風の子会クリスマス会	6
高浜荘クリスマス会	7
きょうされん第33次 国会請願署名・募金のお願い	8
実習所報告	9
虫めがね	10
学習会報告	11
カレンダー報告、 港区障害者週間記念事業	12
小野塚さん連載	13
矢代さん退職、夕会便り、 スケジュール	14
年賀状のお礼、寄付のお礼	15
編集後記	16

2010年
1.2
合併号



2010年 風の子会会長 新年挨拶

2010年が始まりました。21世紀も10年目です。世間では不況だとか温暖化だとか暗いニュースばかりですが、せめて風の子会くらいは明るく楽しくやっていきたいものです。

小野塚 航



おめでとうございます。

皆さんの新年はいかがでしたか。

会としては、今年もまた真に多難な年越し・年明けでした。

去年は、自立支援法とやらの絞めつけによって、会の組織・財政が大きく揺さぶられ、今回は、職員の大半がほぼ同時に辞意を表明するという、日常活動の維持さえ危ぶまれる危機の中での越年でした。

幸い、最悪の状態は一応避けられたものの、まだまだ万全、というより現状を保てるという保障するのさえ難しい状況は、依然として変わっていません。

支援法は、障害者側の運動と政変によって廃止が決まったようですが、それに代わる施策は、未だ指針さえ示されず、窮迫する会の財政が好転する気配は全くありません。

財政の窮乏から打ち出された職員定数削減案が、希望退職を募ると受け取られのご配慮も、あったとすればそれはそれで有り難いのですが、こう一度に重なると、辞めたくなる理由が、会自体にもあるのではないかと・・・と思われてきます。

理事と職員との間のコミュニケーションもその一つでした。円滑さを欠く点を感じながらも手を打てなかったし、理事会も一枚岩で無かったかも知れません。それに年代間の格差は、何所にでも顔を覗かせます。こうして出来がちの断層による断絶・格差を、埋め・浅くする対応は、直ぐに始めましょう。

もちろん新規職員募集は始めています。

善い人に恵まれることを信じています。が、慣れるまで、否慣れてからも一人減という現実から、現状より出来なくなることが増えても致し方ないでしょう。何を見送り何を残すかは、大幅に現場に任せて、お互いが我慢し合うしかないのは当然でしょう。介護する側は出来なくなる方を気にされますが、残されたもので何が出来るかに賭けませんか。

実は、この挨拶依頼のメールに、風の子も激動の年、という文字が躍っていました。取りようによっては、物騒で有り難くない期待など抱くな、となるのだろうが、逆に、通所会員のこのエネルギーに期待しましょう。

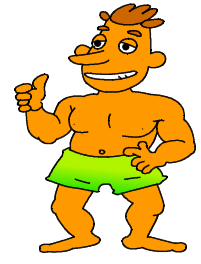
理事 花田政國

またときめいた気持ちを取り戻したい。
 立石



arittake no kimochi.

もっともっと頑張って、期待した様に頑張りたい。
 齊藤



筋肉を付けて痩せたい。内職をもっともっとしたい。
 朝生

今年もミキサーを回したい。
 野田



工房の抱負・目標



子供心を持ちたいです
 健康第一。清く正しく美しく今年も頑張ります。
 内田



大人の生活を送れるようにしたいです
 小林



体に気を付けて今年も頑張ります。
 今年一年皆の支えに成れる様頑張ります。
 岡本



A HAPPY NEW YEAR

楽しく一年を過ごしたい。
 北原

今年は職員の入れ替え等目まぐるしい1年になるけれど、皆で今迄通りほんわかと今年も頑張っていきます。
 松本成



元気で今年一年を過ごせるようにする
 田草川

恋人を作ることに。いつものメニューバーで宝塚を観に行きたい。
 飯尾



内職の仕事を頑張りたいです。
 小野田



和紙を頑張ります。
 福島






今年はお習字のコンサートにいきたくて、まこの夢は木村拓哉に会いたいです。

右田 磨子

今年の抱負はまたお習字、やってみたくて思っていることです。ヒューマンで月に二回やれることは解っているのですが、出来れば雨天や送迎のことを考えると家の近くでと考えています。パソコンは風の子で頑張ってもう少し文を打つ、スピードを早めたいと考えていますが、私の性格上無理かも知れません？。それにもう一つは去年のように美術品を沢山見て、心の栄養を高めたいと思っています。

太田 圭子



企画の抱負




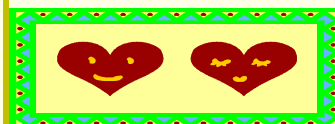
今年の抱負も今迄とあまり（全然？）変わりませんが、人に喜ばれる・楽しんで貰える様な事をしたり（人に尽くしたり）、人に頼られる様な人間に成りたいです。

田村 亮彦

僕の今年の抱負は、健康に気をつける事と、コンカツ（結婚活動）にチャレンジをしたいと思えます。今年もよろしくお願ひします。

田中 聡

仕事の切を守る
風の子に来たら
おふくろに甘えない
女の胸や首筋なめない
会報はうそなことは書かない
お見合いしたい

松本 恵司

新年の抱負は、去年、ボランティアの高野さんと、お約束していたことを実行に移すことです。それはどう言うことかという、夏の朝、早い時間にヘルパーさんに来てもらい、神宮外苑に、高野さんと散歩すること、去年の夏ごろにお約束したと記憶しているのですが僕の都合で延び延びになってお約束を実現したいと思っています。

太田 稔



明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今年は寅年、虎は、千里行って、千里帰ると言って、縁起の良い動物として、私の子供の頃は、戦地に行く兵士の千人針の腹巻きや褌にはよく虎の字を書いたり、虎の絵を描いたりして無事に帰るよう夫や兄弟や恋人、知り合いの人に、女の人が真心込めて贈ったものである。虎は、人食い虎などと言われ、人からは恐れられている反面、人は愛されて、虎の子と言って、可愛がる意味にもなっている虎である。この強くたくましい寅年の内閣も一新して、政治にも新しい風が吹こうとしている。今年こそ我々国民は、新しい内閣に対して、厳しい目で見つめて行く必要がある。今の内閣では不安でならないのである。是非、我が国の景気回復を、願うものである。

今年こそ、地上デジタル・ハイビジョン・ステレオテレビと、DVD付き、デジタルハイビジョン用ビデオレコーダーを絶対に買うことを、ここに宣言を致します。平成22年1月1日。

和栗 顕太郎



抱負 企画編

パート2



ここ数年、「面倒」を理由にしてしまうことが多くなってきたように思う。それが自堕落や怠惰に繋がる一番の要因であることもとうに理解している。今年は、「面倒だから」と心の中



で言う機会をできるだけ少なくするように心がけたい。

小野塚 航

今年は日曜日に習い事を始めたので、友達を増やせたらと思います。

河原 雅子

足が動かないから
パソコンが出来なく
なったので、今年
はなんとかパソコンを
打てるように考えて
いる。
幸



今年には心機一転、ゼロからのスタートの年にしたいと思っています。
また、もっと音楽や読書などの趣味に取り組む時間を増やしたいと思っています。

丸岡 秀明



新たなスタートの年になるので、頑張りたいと思います。
素敵な女性を目指したいと思います。

矢代 奈津三

去る12月19日、風の子会のクリスマス会が、開かれました。今年も大勢の仲間達、ボランティアさん、お母様方が、お集まりいただきました。クリスマス委員の僕が、挨拶した後、岡本副会長の音頭でビールで乾杯。後はおいしいお弁当を頂きました。午後はゲームをやったり、歌を歌ったりして楽しみました。とっても楽しかったです。最後になりましたが



クリスマス委員の方々、並びに職員さんに感謝いたします。どうもありがとうございました。

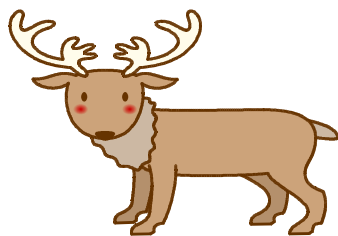
太田 稔



今年のクリスマス会では、実行委員(?)になりました。今回は岡本さん達に依る演奏が開会前と食事中に有り、とても盛り上がりました。コーナーは定番の物に加え徐々に新しい物も取り入れてくようにしている為、今までやっていない・余りやらなかったような事を二つ取り入れました。定番の物も含め評判は分かりませんが、今後も委員になる事があれば改善して取り組んで行ければと思います。またクリスマス会や暑気払いの委員に成ったならば、皆が楽しめる様な会をまた作れるように成りたいです。



田村 亮彦



12月19日(土)に、クリスマス会を行いました。僕は、マイケル・ジャクソンを踊りました。司会を行いました。クイズは、風の子問題と歌詞あてクイズなど、いろいろなクイズを行いました。岡本副会長による、四人でバイオリン演奏を行いました。みなさん楽しんでくれていました。



朝生 孝之

高浜荘 クリスマス会

昨年十二月二十二日、風の子会の会議室で高浜荘クリスマス会が行われました。

高浜荘に住んでいる子供達とその親、そこでクリスマスパーティーを開くので、風の子のメンバーも一緒に参加させてもらうのです。



小さなツリーを作ったりケーキを食べたり、楽しそうに騒いでいる子供達を眺めながら穏やかなひとときを過ごした。
最後にサンタクロースが現れ子供達にクリスマスプレゼントを配っていききました。



世間のしがらみを知り純粋さを失ってしまった僕の元にはサンタは来てはくれませんでした。



小野塚 航



きょうされん 第三十三回国会請願署名・募金のお願い

今年もきょうされん（旧共同作業所全国連絡会）の「国会請願署名・募金運動」キャンペーンがスタートしました。

今回の活動はこれまでとは大きく変わります。昨年八月の衆議院議員総選挙で、私たちが訴えていた障害者自立支援法廃止に賛同してくれていた民主党が政権を取ったためです。早速、鳩山総理大臣や長妻厚労大臣が障害者自立支援法廃止の方針を表明しています。

しかし、このまま待っていても良い法律が出来てくるわけではありません。この様な時期だからこそ、私たちが意見を出すことに尚更の意味があるのです。私たちの未来を作っていくための署名・募金運動は、署名百六十五万筆、募金六千万円達成の目標を掲げています。今回の請願項目は以下の四点です。

一、障害者自立支援法を廃止して応益負担と日払い制度をなくし、障害の谷間のない新しい法律を制定してください。法案の検討にあたっては、**障害当事者や関係者の代表の参加を保障してください。**

問題の多かった障害者自立支援法の廃止は表明されましたが、まだ廃止されたわけではないですし、新しい法律がどのようなものになるのかも分かりません。一刻も早い新法への移行を訴えるとともに、その際、あらゆる障害者を包括すること、新法制定には私たち障害当事者やその関係者の声を反映させなくて

はいけません。

二、新しい法律の制定にあたっては、小規模作業所や地域活動支援センターの問題を根本的に解消し、関連する新たな事業体系に組み入れてください。

障害者自立支援法になってから、多くの都道府県が小規模作業所への補助金をうち切ってきました。小規模作業所は法内施設への移行を迫られています。しかし小規模作業所の移行先と考えられている「地域活動支援センター」は収入が補助金事業より格段に低くなります。補助金に近い収入が得られる「個別給付事業」に移行するには定員等の要件が難しく、他の作業所との吸収合併や作業所の閉所に追い込まれる所も出ています。利用者や職員が安心して通い働くための仕組みを整えることが必要です。

三、障害の重い人びとの働く権利を保障するために、福祉施策と雇用施策とを連結させた**新たな就労支援策を創ってください。**

企業で働く障害のある人は福祉サービスを利用することが出来ません。障害のある人が企業で働きやすいよう、また企業が障害のある人を雇用しやすいよう、賃金の補助や支援のシステムを整える必要があります。また、働く場である作業所に通うのに利用料を払う現行の法制度も改める必要があります。

四、新しい法律は、「障害者の権利に関する条約」の水準に合わせるとともに、**障害関連の予算編成にあたっては、工業先進国の中間く**

らの分配率を確保してください。

日本はまだ障害者権利条約に合わせた法律がありません。また、日本の社会保障費はヨーロッパの国々に比べると格段に少ないです。障害分野に限ってみると更に少なくなり、アメリカより少なく、半分くらいになってしまっています。これらを先進国並に引きあげてもらう必要があります。

皆様のご協力をお待ちしています。

* * * * *

署名にご協力いただく皆様へ

今回の第三十三次署名活動は、**四月中旬まで行います。注意事項をご参照の上で、ご記入願います。**

①記入は、ボールペンかサインペンでお願いします。

②個人情報について、請願署名の取り組は「個人情報保護の保護に関する法律」には抵触しません。また、記入された氏名・住所は請願として国会に提出するものであって、他の目的で使用されることはありません。

③今回も募金活動に力を入れております。

署名のみでも構いませんが、皆様の十円、百円が大きいので、余裕のある方は、是非ご協力をお願いします。

④署名用紙は沢山ございますので、追加で郵

送することもできます。その時はお申し付け下さい。

⑤署名にご協力下さった方は、風の子会職員にお渡し下さるか、左記住所までご郵送をお願いいたします。

⑥集まった署名はきょうされんで取りまとめの上で、国会に直接届けます。

Q、募金はどの様に使われるのですか？

A、募金はキャンペーンの資金、総会、全国大会・国会請願行動への利用者の参加費用、また、各作業所の運営費として、有効に活用させていただきます。例えば、今回の署名で風の子会が十万円の募金を集めたとします。五割（五万円）をきょうされん全国事務局に、残り三割が風の子会、二割が東京支部へ分配されます。

署名用紙の送付・お問い合わせは...

風の子会・高浜生活実習所
〒一〇八―〇〇七五
東京都港区港南一―一―二十七
カナルサイド高浜三〇二号室
TEL 〇三（三四七四）九六七四

署名担当 丸岡、岡本

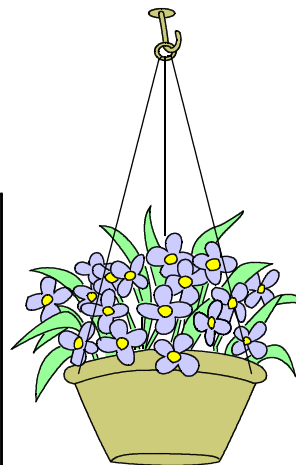
年末は企画のカレンダー販売にたくさんのご注文を頂き、誠にありがとうございました。
企画のパソコンも次々に新しくなります。

職員も変わりますので、より良い会報誌作りや、企画ならではの仕事を見つけて行きたいと思いません。

和栗 顕太郎



**企
画**



実習所報告

**工
房**



吉田印刷さんからの注文で年賀状ふきや名刺ふきをしました。森部さんからの注文で割り箸入れをしました。牛乳パックで作る和紙ハガキもやりました。これからももっと々丁寧にみんなで頑張りしたいと思います。

斉藤 臣一

この5年くらいTV番組が面白くなかったと思ったら、それは私がそれだけ歳を取ったためにらしい、そう言えば母も歳を取ってからはクイズ番組ばかりを見ていたのを思い出した。私はお笑い芸人や若いタレントが大勢出る賑やかな、バラティーター番組やスポーツ番組が好きではないから、芸能ニュースを除くニュース番組を主にしていますが、好きな番組は2時間物で刑事物が大好き、特に伊東四朗のファンです。



太田 圭子



今回もテーマは「好きなテレビ番組」だニャ。担当は太田圭子さんと三木さんだニャ。年代、性別、個人的な好き嫌いがよく反映されるテーマだニャ。さあ、今回の二人はどんなテレビ番組が好きなのか読んでみるニャ。

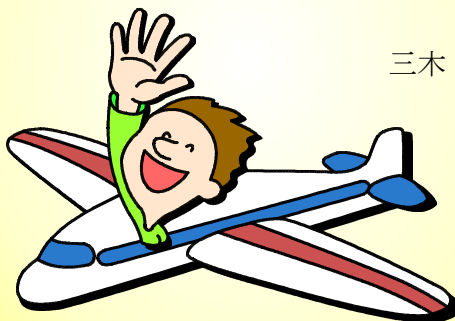


楽しみだにゃ~ 🐾

次回の虫めがねのテーマは好きな音楽です。
小野塚さん、田中さん、田村さん、右田さんです。
皆さんどんな音楽が好きなのでしょうか(=)
乞うご期待!!

私の好きなテレビ番組は番組名に世界と名の付く番組です。例えば「世界丸見えテレビ特捜部」や「世界ふしぎ発見」や「世界の果てまでいってQ」や古くは「世界まるごとHow Mach」などを毎週楽しく観ています。

三木 直人



学習会報告

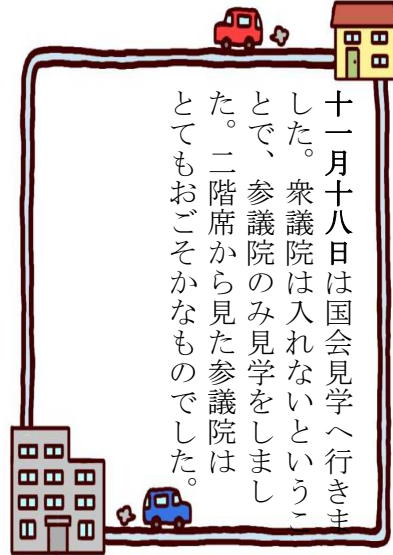
担当・太田 稔

後半は、みんなでボーリングをしました



十一月二十五日は前半は、風の子の保健婦さんである岸田さんから頂いたインフルエンザの資料をもとに岡本君が説明してくれました。インフルエンザはともこわいものだと思えました。

十一月十八日は国会見学へ行ききました。衆議院は入れないということで、参議院のみ見学をしました。二階席から見た参議院はともおごそかなものでした。



後半は音楽鑑賞をやりました。懐かしい曲がいっぱいあってとても良かったと思います。



十二月十六日は前半はサンタクロースについてやりました。クリスマスの語源を知ってとてもためになりました。

十二月九日は前半は裁判についてみんなで考えました。後半は今と将来の風の子について話し合いました。みんな活発な意見がでました。そして夕会のあり方を少し変えてみることにしました。

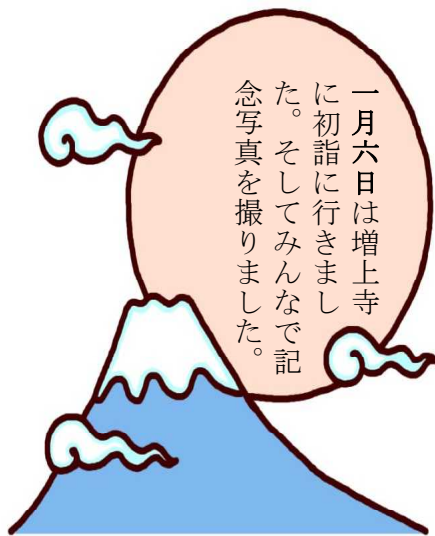


十二月二日は前・後半を使って、テーブルゲームを行いました。

十二月二十六日は恒例となったクイズ大会が行われました。チーム対抗でとても楽しかったです。



一月六日は増上寺に初詣に行きました。そしてみんなで記念写真を撮りました。



一月十三日は予定決めをしました。

冬期売上報告
 （カレンダー＋オリジナル商品）

総売上金額
 二八〇，七九三円

カレンダー売り上げ数TOP3

一位
 壁掛け版

はたらく仲間のうたカレンダー
 二十三個



二位
 とのりのトトロカレンダー

十一個



二位
 ディズニーカレンダー

十一個



オリジナル商品TOP3

一位

きょうされんふきん（五枚組み）

二十個

二位

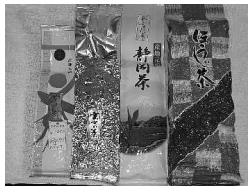
アクアモック専用スポンジ

十九個

三位

お茶（やぶきた茶）

十三個



カレンダーのお買い求めていただき、誠にありがとうございました風の子会同及び、きょうされん同感謝の気持ちです。

障害者記念事業について

十二月五日（土）正午～午後四時三十分まで、港区立障害保健福祉センター（ヒューマンぷらざ）にて、障害者記念事業・みんなの集いが行われ、風の子の代表として、小野田さん・田中・職員の小林さん・ボランティアさんの田中（母）の四名で参加しました。

一階にあるホールで売店形式で執り行われました。僕ら以外に、みなと工房やワークアクティイなど、風の子を含む四団体が参加をしていました。最初はお客さんも疎らで、売り上げがのびず、閑古鳥状態でした。僕の心の中では、館内放送でも流して、呼び込みをしたら・・・などを考えていたくらいでした。僕たちも、ほかの所でどういったことを行っているかが、分かりませんでした。お互いにお互いのこととが分からないのが反省点だと思いましたが、ですが、閉店二十分前あたりから、まるで黒山の人だかりのような感じで、猫の手を借りたいくらいでした。売り上げは予想を遙かに超えた売り上げでした。参加をして良かったです。また参加をする機会があれば幸いです。

田中 聡

わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第23話 冬のゼミ合宿（卒論合宿）

ゼミの夏合宿について少し前に書いたので、今回は冬合宿について書いてみようと思う。冬の合宿は、大学の後期授業が終わった頃、2月の下旬に行われる。集合場所は夏の時と同じ小田原駅だ。みんな各々の方法で駅前に集まってくる。参加者の顔がすべて揃うとバスに乗り込む。夏の合宿地は静岡の大井川沿いだったが、冬は箱根へ向かう。大学のOBが旅館で働いているので、割安な値段で宿泊できるのだ。昼過ぎに小田原を出発し、小一時間ほど箱根の峠道を進んで旅館に辿りつく。

旅館に着き、部屋にはいって荷物を置いて一服するとさっそく合宿は始まる。このゼミの冬合宿は通称“卒論合宿”といわれている。その年に卒業するゼミ生が書いた卒業論文を合宿前にゼミ生が予め読みとおし、一人ひとりがどれか一つの論文に対する意見や批評などをレジュメとしてまとめ、合宿に持ち寄り、そのレジュメをたたき台にして一つ一つの卒業論文を吟味しようというのが目的だ。旅館にある会議室を借り切り、そこに教授とゼミ生が集まると合宿はスタートする。僕はまだ3年生で、自分の卒論のテーマも、いやそれ以前に卒論というものがどういうものなのかかわからない無知な学生だったが、この合宿を通して卒論というものがどういうものなのかということを実際に肌で感じる事ができたように思う。卒業生にとってみれば、教授の審査をパスできた時点で終わっているはずなのだろうが、それをわざわざゼミ生に読まれ、しかもあれこれと批評されるというのはたまらないと思うかもしれない。けれどこのゼミではこの卒論合宿は伝統的に行われているものであり、批評を受ける卒業生もそれを楽しみにしているような雰囲気が感じられた。

会議室に集まるとさっそく一人目の卒論批評に取りかかる。以前にも書いたがこのゼミに集まった人達はインテリジェンスに満ちた人ばかりで、難解なフレーズを容易に操ることができる。社会学や哲学用語なども頻繁にでてきて、議論の中身を必死に追いかけるので精いっぱいだったが、そんな場所にいられる楽しさに僕は満たされていた。日が暮れて教授の腹が鳴る頃になると小休止となる。そのまま夕食を食べ、一服し、温泉に入り、一息つくともた会議室に戻って二人目の卒論批評を始める。議論が熱くなってくるといつまでも終わらない事もあった。日付が変わる頃にまでなってしまうとさすがに打ち切りとなり、翌日へと持ち越しとなる場合もあった。

議論が終わると部屋に戻って飲み会となる。ビールや焼酎、日本酒やウイスキーなどを持ち寄って、さきほどの議論を肴に酒盛りは始まる。寮の仲間も酒好きが多かったが、このゼミも酒の強い人の集りのようで、いくらでも飲める人達ばかりだった。煙草の煙とアルコール臭の充満した部屋での宴会は、日が昇る頃まで続いていった。

翌朝。朝食を経てすぐにまた卒論論議は始まる。二日酔いや睡眠不足な顔も混じりながら議論は続く。この日も初日とほぼ同じ流れで合宿は続く。食事、一服、議論、食事、温泉、一服、議論、そして宴会へと続いていく。三日目も同様で、昼食を経て合宿は終了となり、荷物をまとめて帰途に着く。

これほど熱くアカデミックな議論を体験したのは後にも先にもこの場くらいだろう。ここでの経験が今の僕に反映されているかといえば、はっきりとイエスと言えないところが僕が甲斐性なしである所以である。けれどもこのゼミで経験したことは、僕の中のどこかに、しっかりと糧として刻まれているだろうとは信じていたい。

僕が初めて参加したとき、箱根は雪景色に覆われていた。旅館の会議室の窓から見える風景は真っ白な銀世界で、温泉の露天風呂に入った時にはちょうど雪が舞っていた。そのとき目にした景色を僕は一生忘れない。

～ 第24話につづく ～

矢代奈津三さん、お疲れ様でした！

8年間、風の子会の職員として元気いっぱい頑張ってくれた矢代奈津三さんが、この度退職することになりました。とても寂しいですが、矢代さんの新たな旅立ちを祝いたいと思います。今までご苦労さまでした。これからも元気にがんばってください！

私が風の子会に入社したのは平成14年1月でした。最初は何も分からずに、失敗ばかり。芝実習所が出来るまで、高浜実習所の方において、ようやく高浜のメンバーとも話せるようになったら、芝実習所に移動。初めての芝実習所での作業は失敗の連続でした。朝からキャブの携帯電話をトイレに落としたり、作業の流れがよく分からず職員さんにもメンバーさんにも迷惑をおかけしたと思っています。その当時は経験もありましたが、場所も変わればやり方も変わるので、体当たりでやるしかありませんでした。今思い出すと恥ずかしいことばかり、穴があったら入りたくなることばかりです。そんな失敗も今は楽しい思い出になっています。



20代の大半は風の子会で働いてきましたが、いろいろな経験ができたと思います。介助だけでなく、人との接し方、事務仕事、商談など。他ではあまり出来ないことを学べたことは、今後も活かせると思います。そして、このような経験ができたのは、メンバーさんやボランティアの皆様、またメンバーの御家族と一緒に働いていた職員さんなど、多くの方に支えられていたおかげだと心から感謝しています。風の子で知り合った多くの方々が私を成長させてくれました。その思い出や学んだ事は私にとって大切な宝物です。何もかもが貴重な経験として、これからの人生に活かしていくつもりです。ありがとうございました。長い間お世話になりました。

矢代 奈津三

夕会便り

十一月二十八日

十二月三日（木）に行われる、きょうさん主催の募金活動に、風の子会からは代表として青木さんと太田稔が行くことになりました。職員は丸岡君と、岡本君です。代表として青木さんと太田稔が選ばれました。昨日風の会の女子職員二名が（内田さんと矢代さん）他の作業所に見学に行き何をやっているかその報告をしてくれました。

一月九日

新年を迎えたので、今後風の子会で何をやっていきたいかを話し合いました。野球場に行きたいという意見もありました。が、メンバーやボランティアや給料を増やしたいというような意見もありました。一方で遊んでいたいという意見もあったので、風の子会の魅力とは何だろうという話に発展していききました。

太田 圭子

スケジュール

一月十二日（火）…運営委員会

一月十七日（日）…高浜社もちつき大会

一月十八日（月）…振替休日

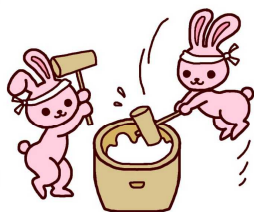
一月三十日（土）…外に出よう代表者会議

年賀状のお礼

今年も他団体及びボランティア
 方から沢山の年賀状をいただき
 ました。

紙面を借りて御礼申し上げます。

- ・ 白金の森様
- ・ 西澤民夫様
- ・ 拓人こうべ様
- ・ 木田沙都紀様
- ・ 濱田智恵美様
- ・ 武藤紀高様
- ・ 立石豪、哲子様
- ・ みなと工房様
- ・ 河合博男様
- ・ 能代かおる様
- ・ 東京福祉大学様
- ・ ユニオンサービス様
- ・ すばる介護センター様
- ・ はすの実作業所様
- ・ とちの実作業所様
- ・ 宍倉自動車様
- ・ ニュートヨ株式会社様
- ・ 江藤孝治様
- ・ 平野幸子様
- ・ 金子豊様
- ・ 宮島（橋本）佳子様
- ・ 森部清様
- ・ 高橋健治様
- ・ 長野松男、君子様
- ・ 船津達郎様



- ・ 弘済学園アフターケアセンター様
 - ・ かがやけ共同作業所様芝浦タイヤ商会様
 - ・ 社会福祉法人家庭授産奨励会様
 - ・ 品川区社会福祉協議会様
 - ・ 社会福祉法人港福会 みなと工房様
 - ・ みなと障がい者福祉事業団様
 - ・ 特定非営利活動法人
 トレイルオリエンテーリング様
- ありがとうございました。

寄付のお礼

寄付を下さった方

- ・ 高橋カネ様
- ・ 増田恭子様
- ・ 美馬貴志様

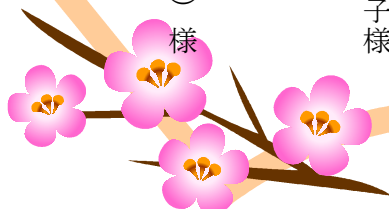
賛助会に賛同して下さった方

- ・ 島村享延様
- ・ 山崎真理子様
- ・ 神谷和子様
- ・ 武藤金一様

物品を寄付して下さった方

- ・ 能代かおる様
- ・ 石見陽子様
- ・ 田中様
- ・ 金子好守様
- ・ 小野田春子様
- ・ 仲江様
- ・ 井出義文様
- ・ 小野田様
- ・ N E C ツーリスト（株）様
- ・ 飯尾様
- ・ 森様
- ・ 仲様
- ・ 山崎真理子様
- ・ 山咲子様
- ・ 坂本様
- ・ 牛山様

ありがとうございました



編集後記

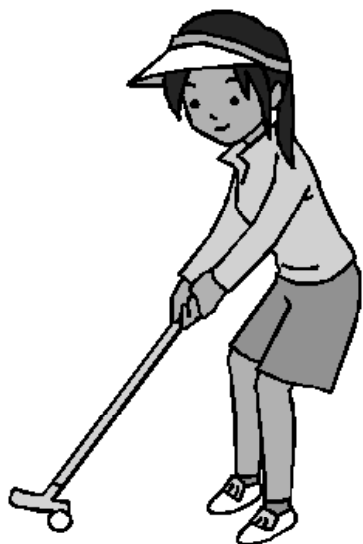
僕は映画をよく観る。
品川プリンスシネマに通うが好きです。
外国作品でカンフーパーンダを観に行った。
謎のアライグマの師範代が主人公に空手を教えてくれた。
黒ひょうが襲う怖い声に中尾あきらが演じた。



主人公の声は山口達也だった。黒ひょうと戦うために、いろんな動物が出て、助けてくれる友情の作品。良かったし、面白かったです。また行きたいです。



松本 恵司



前はひとりゴルフゲームをやっています。兄ちゃんも帰ってきたので一緒に楽しんでいます。一緒に暮らしています。

右田 磨子

風の子の職員の丸岡君と矢代さんと内田さんと小林君が退職することになり、非常に残念です。今まで長い間風の子を支えてくれて、有り難うございました。こお疲れ様でした。これからは残った職員の岡本君と岡さんと河原さん、そして新しい職員で上手くやっています。

幸 高史



ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

編集者
和幸三田佐小太
栗 木村久田田
頭 間
太直亮 正圭
郎史人彦庸人子

吉右松田小太
田田本中野田
久磨恵
代子司聡航稔

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://www.kazenokokai.npo-jp.net/>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砦6-26-21

